瀬谷中だより　７月号

令和５年７月３日

<学校教育目標>社会で飛躍する子どもたちの育成

- ○ **自ら学ぶ力の育成と基礎学力の定着**　〔知〕
- ○ **他者を思いやり、礼儀や規律を重んじる態度の育成**　〔徳〕
- ○ **生命を尊ぶ健康な心と体の育成**　〔体〕
- ○ **社会に貢献し、様々な人と関わり合う態度の育成**　〔公・開〕

発　行　横浜市立瀬谷中学校
校　長　市　村　美　穂　子
住　所　瀬谷区中央５－４１
TEL 301-0096　FAX 301-0099

夢を実現させるための方程式

校長　市村　美穂子

一学期も、あと登校日数 12 日というところまで来ました。部活動では３年生が引退をかけた夏の市総体の予選が始まっています。すでにいくつかの部の試合を観戦しましたが、日頃教室で見るのとは違う表情、必死に競技に向かう真剣な横顔を見ることができ、中学生の底知れぬエネルギーを感じました。特に３年生は、勝っても負けても悔いが残らぬよう、力を出し切ってほしいと思います。頑張れ、瀬谷中生!!

先日、よこはま国際平和スピーチコンテスト瀬谷区審査会があり、瀬谷中学校代表の平田瑞穂さん（3-7）が、見事最優秀賞を受賞し、市の本選に出場することとなりました。私も会場で聞いたのですが、「ノー原稿」で、約３分間堂々と思いを込めてスピーチしていて、素晴らしかったです。国際平和について真剣に考えたことも素晴らしいですが、よくぞここまで完成度を上げたな、と感心しました。

土壇場で力を出し切れるかどうかは、「自分（と仲間を）を信じられるかどうか」にかかってくると思います。つまらない基礎練習を毎日繰り返したり、本番をイメージして緊張した中で練習したり…を毎日積み重ねるうちに自信がつき、プレッシャーに追い込まれた中でも力を発揮できるようになるのです。今後、誰にでも大なり小なり試練の時がやってきますが、心（メンタル）と技（取り組む内容に応じた技術や能力）両面を鍛えて臨めるといいですね（勉強もまた、しかりです！）。

話は変わりますが、最近「夢を実現するための方程式」という本を読みました。著者は、事故で片方の目の視力を失った隻眼（せきがん）のプロパイロット・前田伸二（まえだしんじ）さんです。幼少期からのパイロットになるという夢を果たすべく大学に進学したのも束の間、18 歳の時にもらい事故に遭って右視神経を断絶。完全に右目が見えない状態になり、夢を断念せざるを得なくなりました。パイロットになるには両目の視力が必要なのです。しかし、前田さんは６年後に自家用操縦士免許、片目のパイロットになり、現在はプロの飛行教官としても空を飛び、2021 年にはコロナ禍では世界初の地球一周単独飛行を成し遂げました。絶望して夢をあきらめてから、再び挑戦し夢を見事に実現させるまでの６年間に、いったいどんな【途中式】があったのでしょうか。

前田さんは著書の中で、自分の厳しい体験から得た「夢を実現させるための方程式」を、次のように書いていらっしゃいます。どういう意味の式なのか、何となくイメージできますか?

$$\text{夢の実現} = \text{自分との対話} \times \text{自分のサポーター} \times \text{正しい情報} + \alpha$$

「自分は何が得意で何に興味があり、将来どんなことを学んだり体験したりしたいのか」をよく考え、「溢れる情報の中から夢や希望を実現するために、本当に必要で正確な情報はどれか、しっかり掴むこと」が大切だということは、何となく分かりますよね。さて、あとは何が必要なのか?α（アルファー）とは、いったい何を表すのか…？

さて、前述の前田伸二さんですが、なんと７月 13 日（木）にご本人が瀬谷中学校に来てくださり、皆さんに直接講演をしてくださることになりました。ご自身の経験を基に、熱い思いを直球で語ってくださるとのことです。楽しみですね！夢の実現に向けて必要なものはいったい何なのか、前田さんのお話を伺う中で、瀬谷中生一人ひとりに答えを見つけてほしいと思います。

６月は、１学年の校外学習、生徒総会や委員会の活動等が行われました。各行事の委員長より、活動を終えての振り返りの言葉をもらいました。お疲れ様でした!!

自然教室を振り返って

１年学級委員長の嶋森世羅です。私たちは６月２、３日に自然教室に行きました。
１日目は、ウォークラリーとキャンプファイヤーの予定でしたが、雨で行うことができませんでした。瀧本先生や長岡先生が「自然は厳しい」と言っていたことを思い出しました。楽しみにしていたこともできなくなり、雨で服と靴もびしょびしょになり、くじけそうになりました。しかし、みんなで協力しながら前向きに活動できたことで、乗り越えることができました。最初はできなかった、『話を聞くこと・集まったら静かにすること』などは、みんなの声掛けや何度も繰り返し行うことで徐々に成長していきました。自然教室で学んだメリハリのある行動を来年の鎌倉遠足に活かしていきたいと思います。そのために、普段の学校生活での声掛けなどを大切にし、これからも続けていきたいと思います。

自然教室実行委員長　嶋森　世羅

生徒総会 ～より良い学校を目指して～

６月22日（木）に生徒総会を行いました。全校生徒の皆さん、意見や質問を出して頂き、ありがとうございました。私が生徒会長に立候補したときの公約は、少しでも多くの生徒にとって過ごしやすい学校にすることでした。生徒総会では、みなさん自身が学校について考えてくださっていることが、意見を集約しているときや生徒総会での拍手の大きさから伝わり、とても嬉しい気持ちになりました。

今回の生徒総会で、みなさんが出してくださった意見から委員会、生徒会本部の活動が変化し、よりよい瀬谷中学校になっていくと思います。また、生徒会本部では、自動販売機の中身の管理を強化してきます。前年度より、一つレベルアップした瀬谷になったので来年度でもう一段階レベルアップできるようにきるよう一、二年生のみなさん来年度の生徒総会にもご協力していただけると嬉しいです。

生徒会長　山田　杏

美化委員の花植え活動 ～瀬谷中に irodori を～

先日の委員会活動で、職員限界前の花壇にて花植えを行いました。生徒が中心となり、花の種類や色に応じて配置を調節するなど、工夫やこだわりの詰まった花壇を作ることができました。このような花植え活動を継続していくことができるのは、日頃から花を大切に扱ってくださるみなさんのおかげです。本当にありがとうございます。美化委員がしっかり水やりをし、枯らさないよう大切に育てていくので、花壇内に立ち入ったり、石やボールなどを投げ入れたりせず、引き続き見守っていただけるようお願いします。

美化委員一人一人が丁寧に植えた素敵な花々を是非ご覧ください。みなさんが花壇の傍を通る度に、この花たちがみなさんに元気や癒しを与え、日々の励みになるといいなと思います。

美化委員長　本伴　美咲葵

正門側の花壇の花

保健室前のひまわりの芽

６月12日（月）の全校朝会で、瀬谷リトルシニアで活動する２・３年生７名の表彰を行いました。2023 関東連盟春季大会で優勝を果たし、表彰状とともに、優勝旗、優勝杯を校長から渡され、皆晴れやかな表情でした。校外の活動でも活躍する瀬谷中生。立派です！